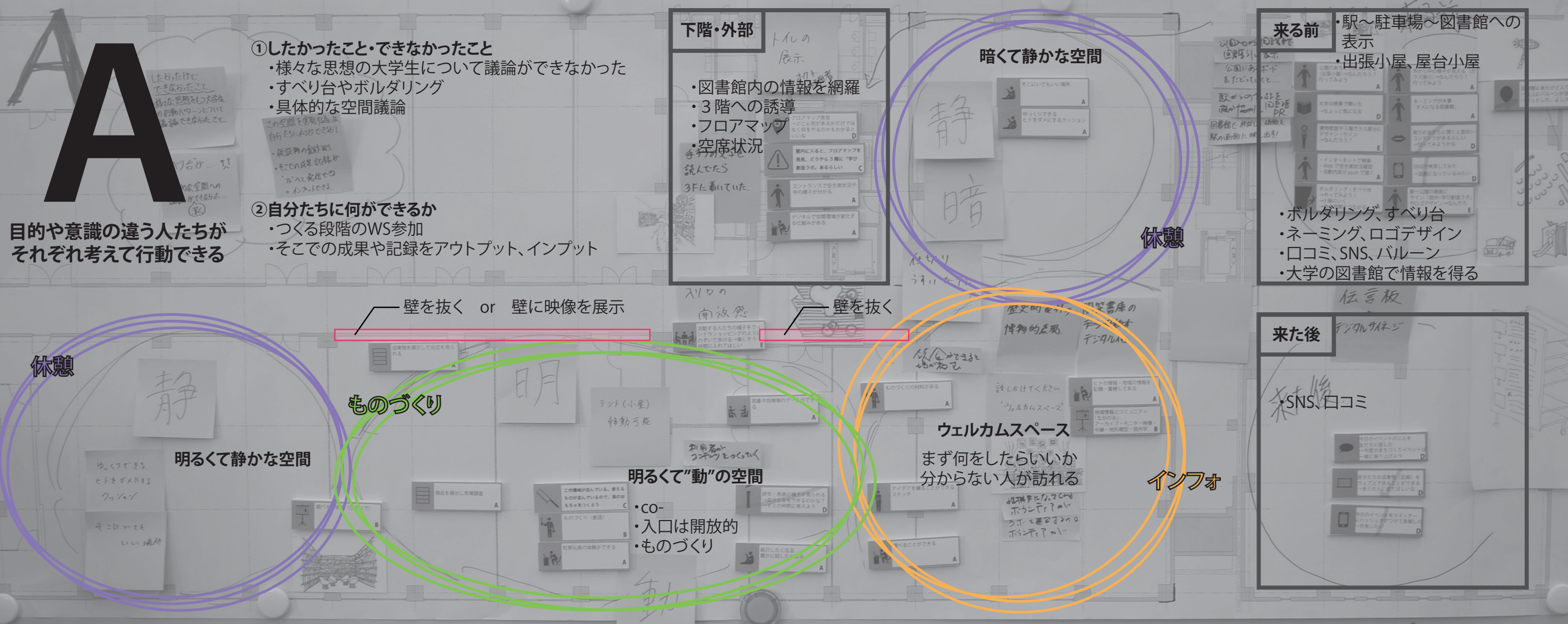
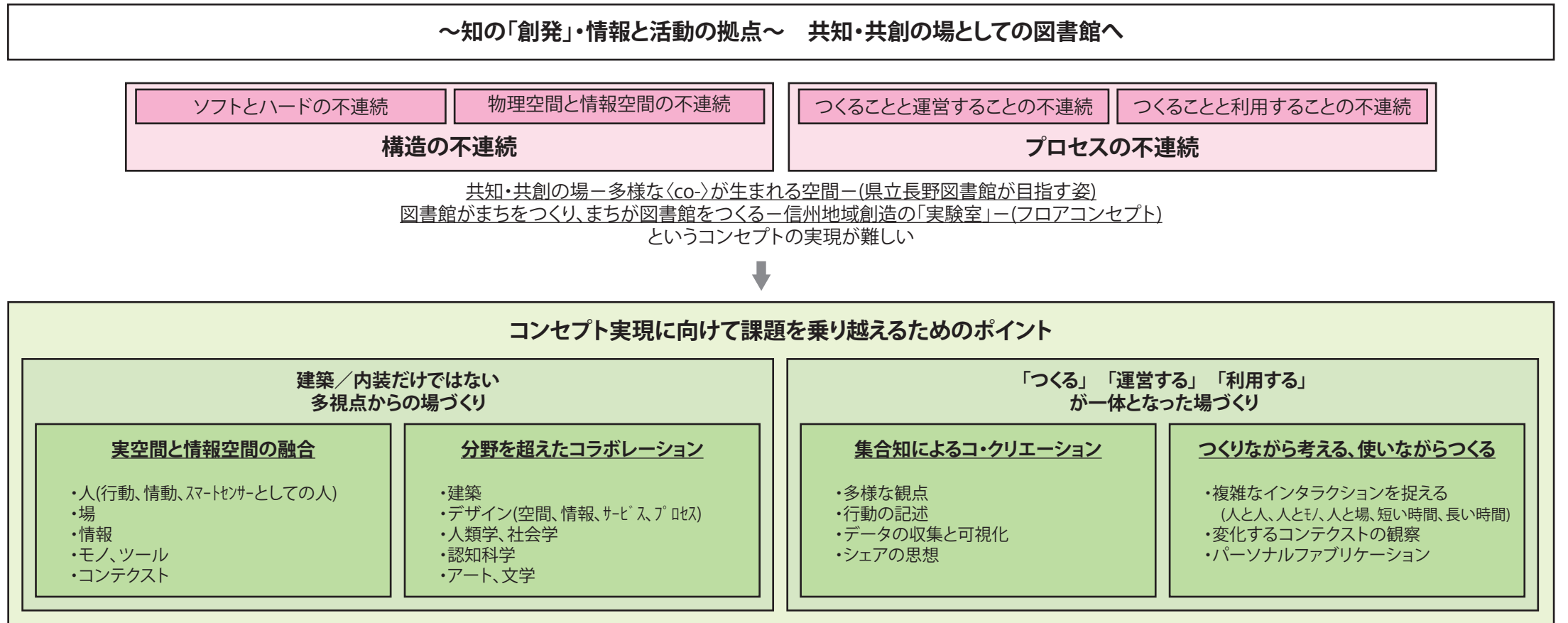




Aチーム 補足

■ターゲット:大学生、自分の居たい場所を探す

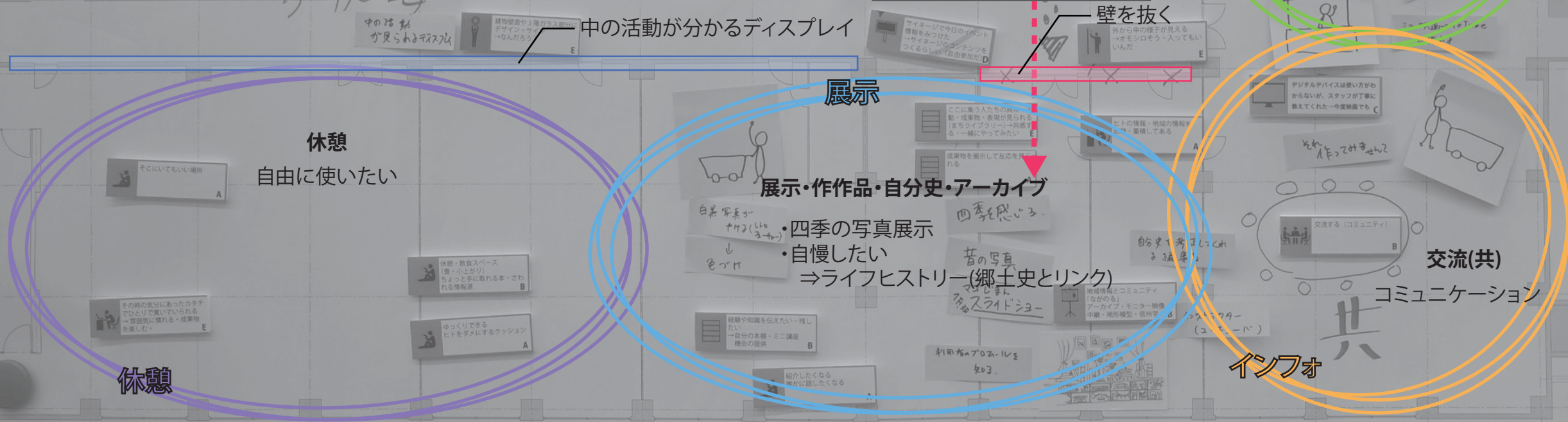
- ・来る人の意識の差を想定
- ・エリアをグラデーション分け、空間配置
- ・来る前に図書館の情報を知ってから来る人(目的がある人)
- ・となんとなく来た人(ふらっとまわれる空間)



同じ思いをもつ人が
つながり、新たな発見をする

- ①したかったこと・できなかったこと
・空間をイメージすることはできなかった

- ## ②自分たちに何ができるか
- ・様々なスキルをみんなが提供する
(レーザーカッター使える等)
 - ・作った資料が次の利用者へ呼ぶ
→スターターになるコンテンツをWS等で作成



Bチーム 補足

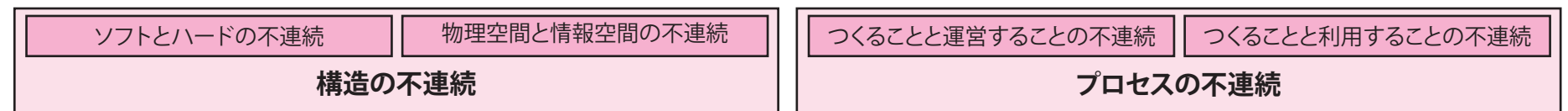
■ターゲット:おじいちゃんと孫

- ・他の人が何をやっているか見て廻れる
- ・ワゴンを持った人がうろうろ…
(フロアのことを教えられる人)
- ・今、収蔵されているものとこれから増えていくものをどう結びつけるか
- ・ゲーム形式で奥のエリアまで連れていけないか

Bチーム 課題



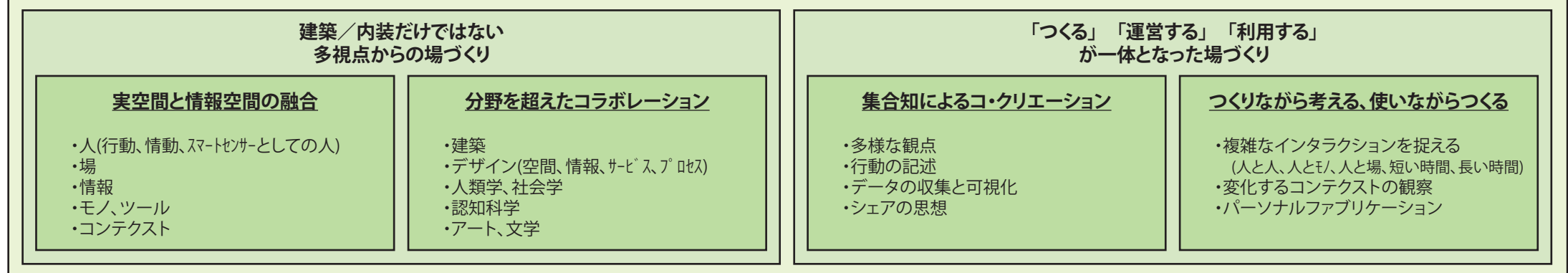
～知の「創発」・情報と活動の拠点～ 共知・共創の場としての図書館へ



共知・共創の場合―多様な「co-」が生まれる空間―(県立長野図書館が目指す姿)
図書館がまちをつくり、まちが図書館をつくる―信州地域創造の「実験室」―(フロアコンセプト)
というコンセプトの実現が難しい



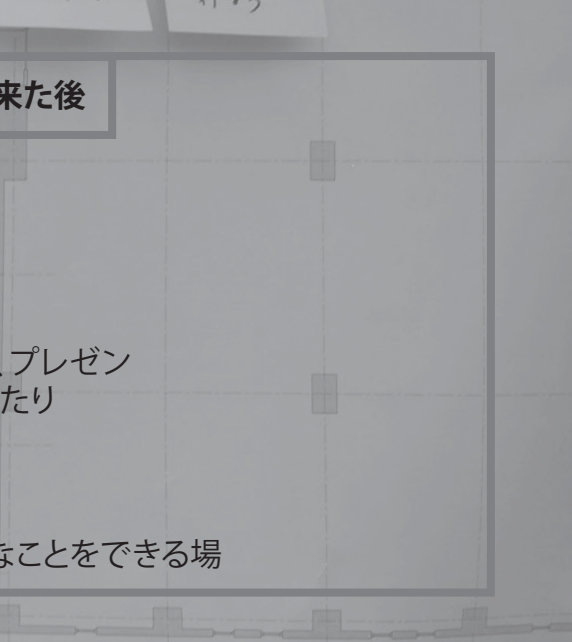
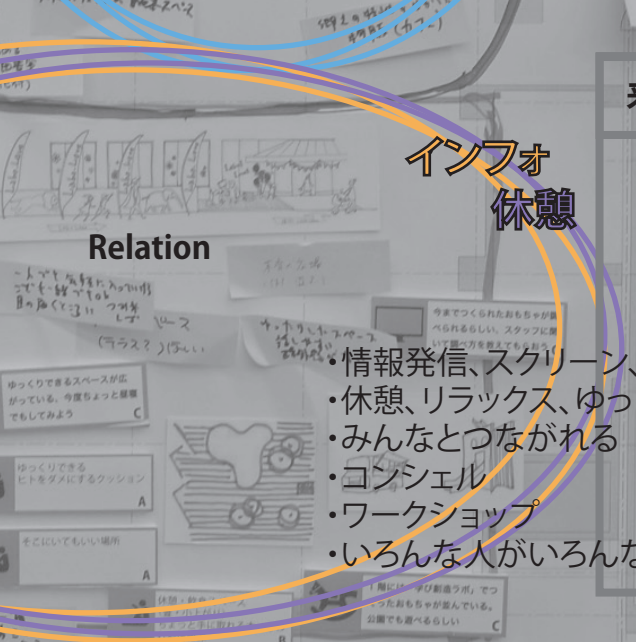
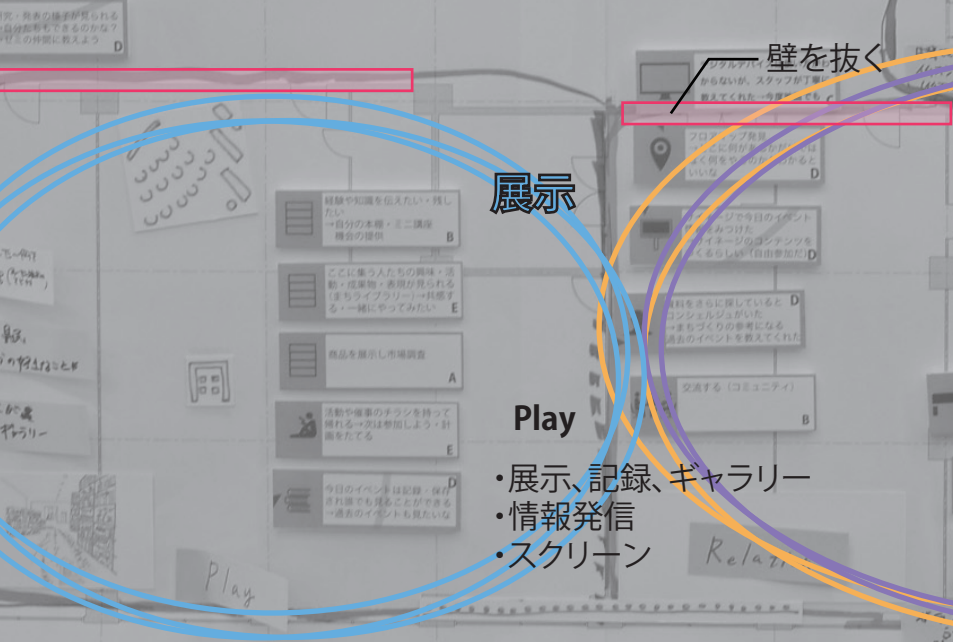
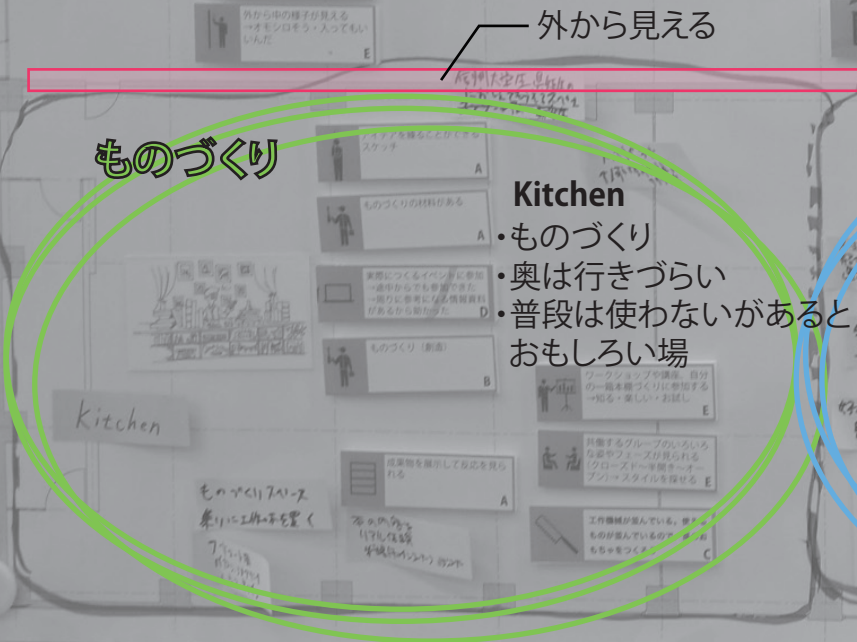
コンセプト実現に向けて課題を乗り越えるためのポイント



C

4つのゾーンに特徴を持たせ
用途や目的に応じて使い分ける

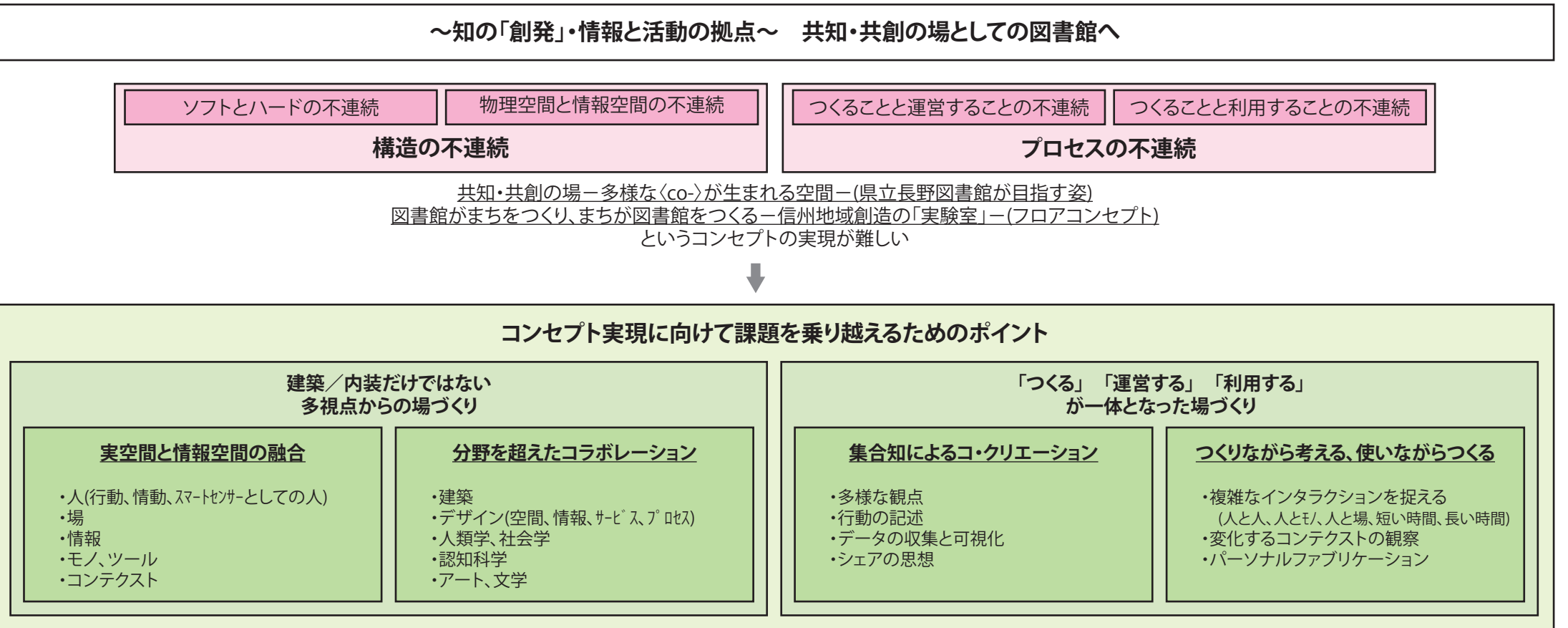
- ①したかったこと・できなかったこと
・主婦、こどもの目線でもっと話し合う
- ②自分たちに何ができるか
・参加者全員がリーダーとなったWS



Cチーム 補足

■ターゲット:暇を持て余した大学生や女性目線も…

・Paly Archive Relation Kitchen



D

自由度の高い空間で
場所を選ばず居られる

①したかったこと・できなかったこと
・コラーニング、コワーキングについての議論

②自分たちに何ができるか
・民間企業とのコラボ
・ボランティアの募集

中を見て何をするか興味を持つ
→入り込む
→新たな発見

下階・外部

・サイネージ
・フロアマップ

クローズドできるエリア

・製本
・AIについて長期的に考える
・プログラミング

来る前

・SNS、スマホ
・知る

来た後

・写真を撮ってインスタへ
・“いいね”のサイン
・4つの気分ボタン
→物理的な動作により評価の
見える化、次につながる動作
(口コミやSNSだけでなく)

ものづくり

とじることのできるエリア

・企業コラボ
・有料WS

休憩

休憩

デジタル、アーカイブ

・調べもの
・タッチパネル
・柔軟性のある空間
・手に取れない本があっても良い

インフォ
展示

中を全て
デジタルに

製作エリア

WS等のイベント

ものづくり

Dチーム 補足

- ・オープンとクローズド
→用途によって変化する自由な空間
- ・信州について学ぶ空間はここで完結しなくても良い
→iPadで持ち歩く
- ・3階に“本”と“信州情報探索だけのためのスペース”は
必要ない →2階と区別
- ・そこに行かないと感じられないことがある

～知の「創発」・情報と活動の拠点～ 共知・共創の場としての図書館へ

ソフトとハードの不連続

物理空間と情報空間の不連続

構造の不連続

つくることと運営することの不連続

つくることと利用することの不連続

プロセスの不連続

共知・共創の場ー多様な「co-」が生まれる空間ー(県立長野図書館が目指す姿)
図書館がまちをつくり、まちが図書館をつくるー信州地域創造の「実験室」ー(フロアコンセプト)
というコンセプトの実現が難しい

コンセプト実現に向けて課題を乗り越えるためのポイント

建築／内装だけではなく
多視点からの場づくり

実空間と情報空間の融合

・人(行動、情動、スマートフォンとしての人)
・場
・情報
・モノ、ツール
・コンテキスト

分野を超えたコラボレーション

・建築
・デザイン(空間、情報、サービス、プロトタイプ)
・人類学、社会学
・認知科学
・アート、文学

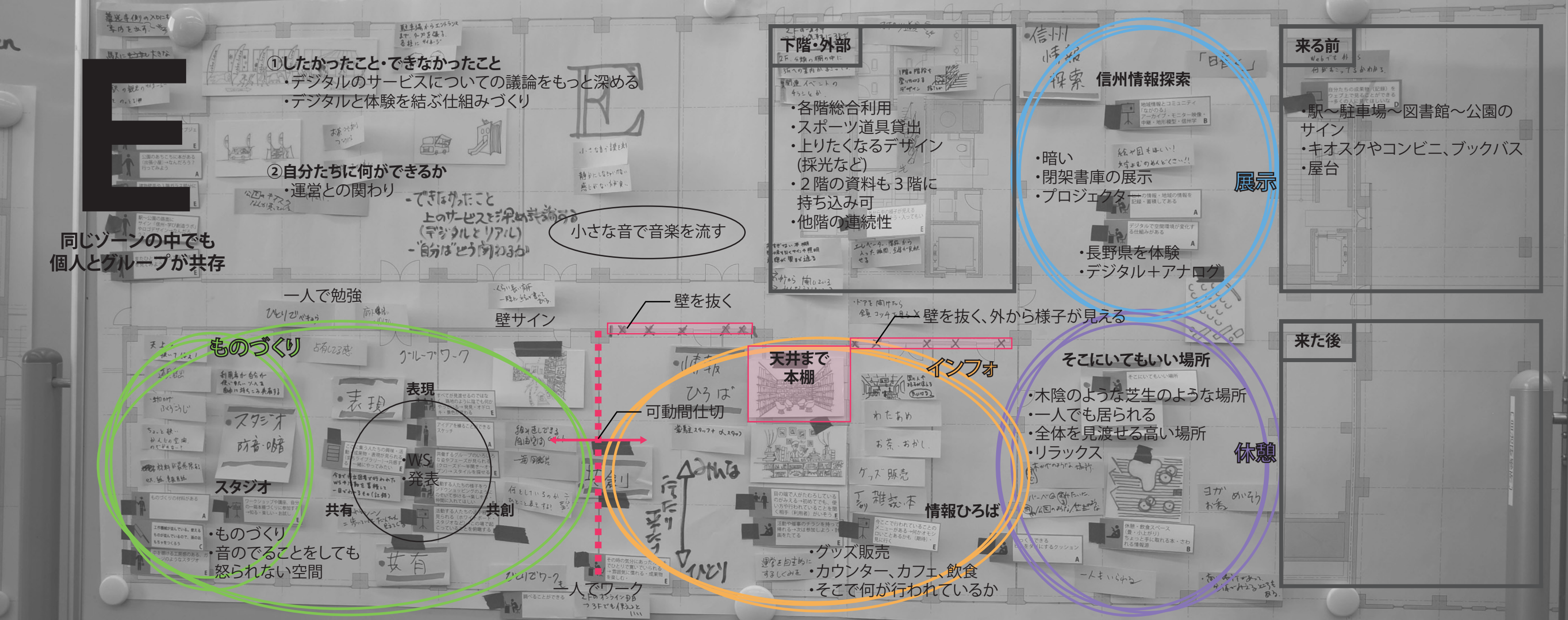
「つくる」「運営する」「利用する」
が一体となった場づくり

集合知によるコ・クリエーション

・多様な観点
・行動の記述
・データの収集と可視化
・シェアの思想

つくりながら考える、使いながらつくる

・複雑なインタラクションを捉える
(人と人、人とモノ、人と場、短い時間、長い時間)
・変化するコンテキストの観察
・パーソナルファブ리케이션



Eチーム 補足

- みんなで居たい時 ⇔ 一人で居たい時
- 同じエリアでいろんな使い方
→自由な空間、個人とグループの間を行ったり来たり
- ゾーンの中にもエリア分け(入れ子の様な空間)

